

タイトル	地域とともに歩む学校づくり
名称（学校・地域）	長野県木曾青峰高等学校
日時・場所等	
ホームページアドレス	<a href="https://www.nagano-c.ed.jp/seiho/">https://www.nagano-c.ed.jp/seiho/</a>

# 地域とともに歩む学校づくり

木曾青峰高等学校は、平成19年に木曾高等学校と木曾山林高等学校が統合されて開校しました。現在の木曾青峰高等学校には、両校の流れをくむ全日制普通科・理数科・森林環境科・インテリア科と定時制普通科があります。生徒の多様な進路希望の実現を目指した教育及び地域と連携した教育の実践を教育理念とし、木曾郡において地域の中心に位置する中核となる高校です。地域の将来を担う人材の育成を大きな使命とし、地域の伝統に立脚した教育づくりを進めています。

## 1 生徒の幅広い進路希望実現に向けての取り組み

### ◇自己のあり方・生き方を考えさせキャリア教育の充実を図る

総合的な学習の時間等を使い、1年次は大学や企業への進路見学会により職業観の基礎を育てます。2年次は普通・理数科のオープンキャンパス、森林環境・インテリア科の就業体験等への全員参加等により具体的な進路学習に発展させ、さらに本校自主主催の進路ガイダンス等の行事を通して、3年次の進路選択につなげる、体系的なキャリア教育を行っています。定時制では、総合的な（探究）学習の時間を使い「自己探究」として、校内生活体験発表会を毎年実施し、自己を考える機会としています。



### ◇学力向上の取り組み、地域理解学習の充実

学力向上→平日の放課後補習や土曜日「青峰学習塾」の補習、理数科の土曜授業などを実施、生徒の学力向上を図ります。理数科では高大連携講座を実施、大学教授の出張講義を受講しています。



地域理解学習→1年生の5月に「赤沢自然休養林」の見学と林道補修ボランティア活動を行い、木曾の自然に理解を深める環境学習を実施しています。

## 2 地域との連携や支援を受けた幅広い教育活動の推進

### ◇地域イベントへの参加や地域交流を積極的に進める

東京「みどりとふれあうフェスティバル」参加→毎年5月に日比谷公園で開催される林野庁主催の「みどりとふれあうフェスティバル」に森林環境・インテリア科が参加し、学校・地域の特色をアピールしています。



地域の祭りやイベントへの参加→町内の祭り（7月「みこしまくり」、10月「農協祭」、2月「雪灯かりの散歩道」等）に積極的に参加しています。町のゆるきゃら「ふくちゃん」のぬいぐるみに入り各地のイベントに参加、木曾町の宣伝に貢献しました。

## 3 専門科の地域連携の実践

### ◇森林環境科の地域連携の取り組み

○地域住民の方々にも参加していただき、城山演習林観察会「山を歩く会」を開催○ヒノキの間伐材を使ったベンチを製作し、城山国有林に設置○保育園との森林学習、幼稚園との栽培学習○木曾町地域資源研究所において乳酸菌の分離実験○郷土の伝統食や伝統野菜の栽培研究と地域住民との交流、など。



### ◇インテリア科の地域連携の取り組み

○地域のイベント参加（木曾の手仕事市、松本クラフトピクニック、駒ヶ根クラフティア）○木曾町の町づくり観光PRの提案○ポスター制作（防火、人権意識の高揚など）○木曾川上下流域交流NPO法人の依頼で名古屋市科学館に展示する木のおもちゃ製作○きそふくしま保育園児との交流○地元の職人さんから学ぶ桶づくり○ペットボトルのラベルデザイン、など

